



「しごとの仕方改革」 ワンポイントコラム

平成29年8月1日
Vol.1

今年からスタートした「しごとの仕方改革」について理解を深め、より良い改善をしていくためのポイントや事例などを紹介していきます。

この号のテーマは、「しごとの仕方改革の必要性」と「しごとの仕方改革とは何か」です。

「しごとの仕方改革」に取り組む必要性

「時間外が多い」「休みが取れない」「やることが多く、本来取り組むべき業務に取り組めていない」皆さんの職場では、こんな不満の声をよく聞きますか？

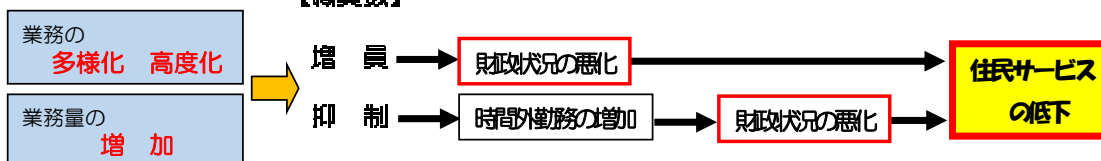
地方分権の進展による権限委譲や多様化する住民ニーズに対応するため、年々業務は多様化・高度化し、業務量は増加してきています。このような状況に対し、これまで本村では、職員が時間外勤務を行うことに対応し、それでも不足する労働力を臨時・非常勤職員を増員することで補ってきました。しかしながら、臨時・非常勤職員を増員したとしても、職員にしわ寄せがきてしまい、結果として、職員の年休取得率の低下を招いている状況です。



今後も業務の多様化・高度化及び業務量の増加に対して、時間外勤務を増やし続け、また臨時・非常勤職員を増員し続けられるでしょうか。いずれも限界があり、また財政状況を悪化させることになります。そして財政状況の悪化は住民サービスの低下に繋がる恐れがあります。

○住民サービス低下の危機

【職員数】



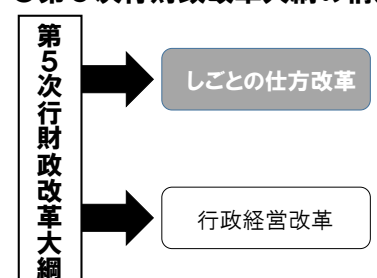
今後も増え続け、また多様化・高度化する業務に対応していくために、本村では、職員一人ひとりの「しごとの仕方」に着目し、「しごとの仕方」を「改善」することで、業務の効率性を上げ、職員や組織の「生産性」を上げていく「しごとの仕方改革」に取り組んでいくこととしました。

「しごとの仕方改革」とは？①

しごとの仕方改革とは、第5次行財政改革大綱の基本方針のひとつです。

職員一人ひとりの「しごとの仕方」に注目し、一つひとつの業務を改善し、積み上げていくことで職員や組織全体の生産性を向上させ、さらに、それを持続する組織風土に変革していくことが、しごとの仕方改革の目的です。

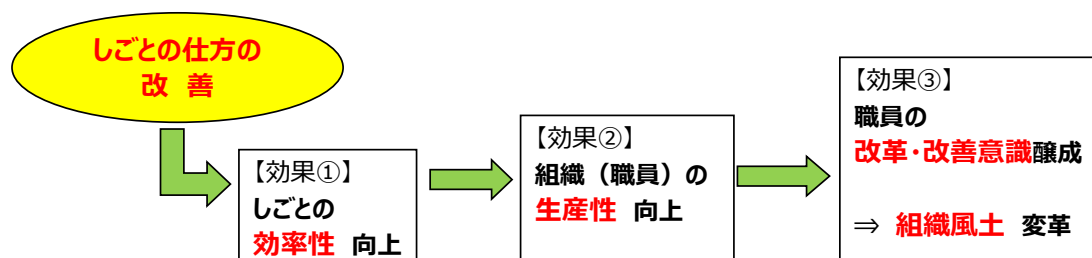
●第5次行財政改革大綱の構成



「しごとの仕方改革」とは？②

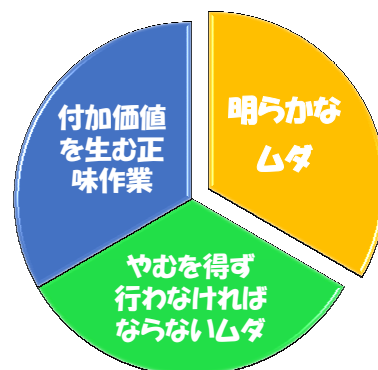
しごとの仕方改革は、3つのプロセスから成り、各プロセスから生まれると期待される効果を連鎖させることで、目的の達成を目指します。

- ①「しごとの仕方」を一つずつ改善していくことで、しごとの効率性が向上
- ②「しごとの仕方」の改善を積み重ねることで、組織（職員）の生産性が向上
- ③「しごとの効率性向上」と「職員（組織）の生産性の向上」を繰り返すことで、職員の「改革・改善意識」が醸成され、改革・改善意識が根付いた組織風土に変革



「しごとの仕方の改善」について

業務を進めて行く中で、人は多くの作業を行っています。
右図のように、作業の中には、「明らかなムダ」や「やむを得ず行わなければならないムダ」があり、本当に必要な「付加価値を生む正味作業」ばかりではありません。
しごとの仕方の改善にあたっては、作業の中にある「明らかなムダ」を取り除くとともに、「やむを得ず行わなければならないムダ」や「付加価値を生む正味作業」に掛かる時間や労力を削減して、効率化することが必要となります。



「しごとの仕方改革」に取り組む上で大事なこと！

しごとの仕方改革に取り組む上で大事なこと、それは「小さなことからコツコツ」と改善していくことです。しごとの仕方改革は、小さな改善を積み重ねることで、大きな変革を目指すものです。このため、簡単で取り組みやすいことから、どんどん取り組んでいくことが大事なポイントです。簡単で取り組みやすいことは、他の職場でも簡単に取り入れることができるかもしれません。一つひとつの改善は小さくても、全庁的に取組めば、大きな成果になります。



「職員一人の小さな一歩も、職員全員が集まれば、東海村を動かす大きな力になる」
ぜひ、積極的に改善に取り組んでいきましょう！！

しごとの仕方改革についてのご質問は、人事課 人事・行政担当(内線 1322)までお問い合わせください。